

唄者 登川誠仁



『肝(ちむ) - 沖縄・コザの登川誠仁 -』

金子亜矢子・写真 藤田正・文

マーブルトン

請求記号: L768/

所蔵館: 中央館・石川館

映画『ナビィの恋』で人気を集めた沖縄島唄界のゴッドファーザー、登川誠仁。コザの街を背景におくる、フォト&ストーリーブック。



『島唄 - オキナワ・ラブソング 登川誠仁伝 -』

森田純一・著

荒地出版社

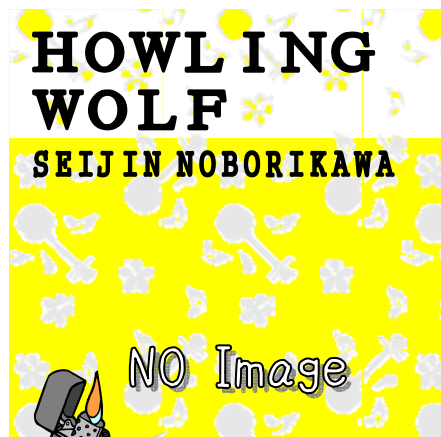
請求記号: L768/

所蔵館: 中央館・石川館・勝連館

尼崎に生まれた「セー小」は、幼くして母親の実家である沖縄・石川（現うるま市）へやってきた。ある日「毛遊び」を覗き見て…。11歳で「カチャーシー」を弾きこなすまでになった彼は、やがて戦後の沖縄歌謡を築き上げることになる。

三味線に魅せられ、島唄と共に生きる「登川誠仁」の伝記。

登川誠仁（のぼりかわ・せいじん）
兵庫県尼崎市生まれ、沖縄県中頭郡美里村東恩納地区（現うるま市）育ち。琉球民謡登川流宗家、県指定無形文化財技能保持者。
九九年公開映画『ナビィの恋』（中江裕司監督）に出演し、全国的に知名度を高めた。同監督の『ホテル・ハイビスカス』（〇〇年）、『恋しくて』（〇七年・声のみ）にも出演した。また、二〇一一年冬公開予定『琉神マブヤー THE MOVIE 七つのマブイ』（佐野智樹監督）にも出演している。



CD『ハウリング・ウルフ』

登川誠仁・演奏

オーマガトキ

請求記号: A362

所蔵館: 石川館

メイン・プロデューサーに照屋林助をむかえ、12曲を収録。泡盛とタバコを傍らにリラックスモードで録られた楽曲と、曲の間のMC（登川誠仁と照屋林助のゆんたく）が楽しいアルバム。

琉球民謡の最高峰だから出来た、オキナワ・ストリート・ミュージック大全。

